

はじめに

志を同じくする仲間を集めましょう。仲間は1人でも多い方が運営の継続につながります。運営と一緒に考え、責任感を持って取り組む仲間が3~5人は必要です。

STEP 1 話し合おう!

メンバー同士の運営イメージが同じとは限りません。具体的にどんな運営イメージを持ったかを出し合い、どんな内容の子ども食堂をやりたいかを話し合って活動の方向性を決めましょう。

STEP 2 会場を探そう!

長く続けるためにも、自宅や公民館、社会福祉施設、喫茶店の店舗など、安価もしくは無償で貸してくれるところを探しましょう。また、開設する場所や地域の状況も確認しましょう。

●チェックリスト

- 子どもが訪れやすい場所ですか
- 駐輪場や駐車場を確認しましたか
- 開設する地域で子どもや高齢者の方などがどのくらい住んでいるか確認しましたか

STEP 3 スタッフを集めよう!

ボランティアセンターやNPO支援センターのサイトなどを利用して、一緒に活動してくれるスタッフを集めましょう。

●たとえば

- 友達や知り合いにお願いします
- チラシを作って募集しましょう
- SNSを使って募集しましょう
- ボランティア募集サイトへ登録しましょう
- ボランティアセンターなどに相談しましょう

STEP 4 見学に行こう!

子ども食堂を運営している団体はたくさんあります。メンバーと一緒に子ども食堂を見学して、どのように運営しているか話を聞きましょう。

●聞き取りポイント

- 仲間はどのように集めましたか
- 資金はどのように集めましたか
- 会場はどのように探しましたか
- 器材はどのように集めましたか
- 食材はどのように調達していますか
- 広報はどのようにしていますか

Step 1 話し合いのポイント

- ・ 誰に食事を提供したいか
- ・ どこで開催したいか
- ・ 開催日・開催頻度はどうしたいか
- ・ 食事以外に何をしたいか
- ・ 運営方法はどのようにするか
- ・ どんな名称がいいか

Step 2 会場探しのポイント

- ・ 調理器材がそろった施設が使えると、機材の調達や運搬が楽になります。
- ・ 地域の店舗などは、知り合いを通して聞いてもらうといいでしょう。そのために、運営に参加するメンバーをたくさん集めると、助けてくれる知り合いが増えていきます。

Step 3 ボランティア募集のお役立ち情報

■子どもの居場所づくり、ボランティアについての相談先

社会福祉法人
愛知県社会福祉協議会
ボランティアセンター
愛知県名古屋市中区白壁
1丁目50番地
愛知県社会福祉会館2階
TEL 052-212-5504
FAX 052-212-5505
E-mail info@aichivc.jp



Step 4 子ども食堂を調べるお役立ち情報

愛知県の発行する県内の子ども食堂マップで、どこで開催しているか調べることができます。



STEP 5 計画を立てよう!

みんなのイメージがまとまったら、いつ、どこで、誰を対象に、いくらで、何人分の食事を提供するか具体的に文章に起こして計画を立ててみましょう。

●計画チェックリスト

- 対象者や対象地域を決めましたか
- 開催の頻度や曜日、時間を決めましたか
- 開催場所の候補をあげましたか
- 料金設定を決めましたか
- 資金集めの方法を決めましたか
- 調理器材や食材の調達方法を決めましたか
- SNSやチラシなどの広報の方法を決めましたか
- メンバーの役割分担を決めましたか

STEP 6 資金を集めよう!

食材費や会場費以外にも、備品購入費、広報費、消耗品費などに資金が必要となります。寄付や助成金、補助金など資金調達しましょう。

●チェックリスト

- 有志の方に寄付を募りましたか
- 助成金を探しましたか
- 通帳を作りましたか
- 帳簿を作りましたか

STEP 7 器材や食材を集めよう!

調理器具や食器を貸してくれる方、あるいは寄付してくれる方を探しましょう。地元の農家や企業、フードバンクから食材を提供いただいている団体もたくさんあります。友人や知り合いを通して提供してくれるところを探しましょう。

●チェックリスト

- 友達や知り合いに声をかけましたか
- SNSを使って呼びかけましたか
- 調理設備のある施設に聞いてみましたか
- 子ども食堂関連の情報を手に入れましたか

Step 5 計画立案のポイント

- ・ 意見を出し合った後で、今いるメンバーで「できること」から決めていきましょう。また、「できないこと」もメンバーが増えたと行えるようになるため、メンバー集めが一番大切なことです。
- ・ 子ども食堂は地域の居場所として、子どもに限定しないで、食事を提供しているところはたくさんあります。事例を参考にしましょう。
- ・ メンバーが参加できる曜日や時間、頻度などから、候補日を絞り込んでいくと、日程が決めやすくなります。地域の学校行事も把握しておくといでしょう。
- ・ メンバーで会場候補を出し合い、手分けをして会場探しをするとよいでしょう。
- ・ 子ども料金は、無料から300円までとさまざまあり、安ければ提供数を減らしたり、大人料金を高くするなどの工夫が必要です。
- ・ 資金集めは、寄付や助成金、補助金、利用料など複数の方法で行いましょう。
- ・ 調理器材や食材は、友達や知り合いを通して声をかけるといでしょう。
- ・ 役割は一人に集中せず、それぞれの得意なことを活かしてメンバーで分担しましょう。

Step 6 助成金を調べるお役立ち情報

愛知県社会福祉協議会のボランティアセンターのサイトで、愛知県内や全国の助成金を調べることができます。助成金の申請には団体の通帳が必要です。助成金の申請も、通帳の作成も、規約が必要となる場合があります。



Step 7 お役立ち情報

愛知県では子ども食堂の開設費用と、子ども食堂で行う学習支援に必要な図書購入費用について、平成31年4月から補助金を支給する予定です。



STEP 8 関係機関への届け出を確認しよう!

飲食の提供や火器を使用する場合は、保健所や消防署への許可や登録が必要になる場合があります。届け出の必要があるかどうかを確認しましょう。

- チェックリスト
- 保健所に確認しましたか
 - 消防署に確認しましたか

STEP 9 リスクに備えておこう!

■食中毒を予防しよう!

食中毒が発生しないようにするために、事前に保健所に連絡をして助言を受けるとよいでしょう。

●食中毒予防のポイント

【調理前に行うこと】

- 調理施設は清掃や整理整頓を行いましたか
- トイレは清掃、消毒を行いましたか
- 下痢・嘔吐や手指の傷などはありませんか
- エプロンや三角巾、マスクなど、清潔な作業着を身につけましたか
- 手洗い、消毒を行いましたか
- 子どもが調理に参加する場合は、手洗い、消毒を徹底させましたか
- 原材料は、仕入れ時に賞味期限等を確認し、1回で使い切れる量を仕入れましたか
- 献立や食材の仕入れ先・仕入れ時間の記録(レシートなど)は保管しましたか
- 仕入れた食品は冷蔵庫や冷凍庫で保管していますか
- 生肉や鮮魚介類などの食品は他の食品を汚染しないよう、区別して保管しましたか
- お年寄り、幼児、妊婦などの抵抗力が弱い方が食べる場合、メニューに生ものは入っていませんか

【調理中に行うこと】

- 魚介類、野菜・果物は流水でよく洗いましたか。
- 別の原材料を調理する場合などは、手洗い、消毒を行いましたか
- 調理器具を洗剤で洗浄してから使いましたか
- 食品(特に肉類)は、中心部までよく加熱(中心温度75℃で1分以上)しましたか
- 生の食材を扱う調理器具と加熱済みの食品に使用する調理器具は専用のものを使用しましたか

【調理後に確認すること】

- 調理後は、時間を置かず提供しましたか

■食物アレルギーへの対応を検討しよう!

- アレルギーを持つ方への対応について、緊急時の対応も含め、計画の段階でよく検討しておきましょう。
- 食物アレルギーについて特別な対応を行わない場合は、事前にその旨を参加者に情報提供するようにしましょう。

■ボランティア保険に入ろう!

【ボランティア活動保険】

ボランティア活動中の事故により活動者本人がけがをした場合や、他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償問題が生じた時に補償します。

Step 8 保健所を調べるお役立ち情報

保健所(名古屋市内は保健センター)では、子ども食堂立ち上げにあたっての調理場等の衛生管理に係る助言を受けることができます。事前に訪問して開催にあたって、食品衛生に関する知識を得ておくといでしょう。下記のQRコードを開いて実施場所を管轄する保健所(名古屋市内は保健センター)にご相談ください。



Step 9 保険を調べるお役立ち情報

ボランティア活動保険とボランティア行事保険は、各市町村の社会福祉協議会で、加入手続きが行えます。最寄りの社会福祉協議会は、下記QRコードを開いて、愛知県内ボランティアセンター一覧でご確認ください。対象とならない活動や、保険金が支払われない場合がありますので、下記のQRコードを開いてボランティア保険のURLで詳細を確認してください。



【ボランティア行事用保険】

福祉活動やボランティア活動などを目的とする団体が主催する行事参加中に、行事参加者が事故でけがをした場合や、主催者が行事参加者の身体や財物に損害を与え、行事主催者が法律上の賠償責任を負った場合を補償します。

STEP 10 広報しよう!

対象者に開催を伝えるためには、最低でも1か月前から広報をはじめましょう。チラシやSNSなどの広報物に必要な事項が入っているかを確認しましょう。

●必要項目

- 開催日の月・日・曜日・時間
- 開催場所の住所、施設名、地図
- 開催内容やメニューなど
- 注意事項
- 料金
- 主催者名・連絡先・申込方法
- 食物アレルギー対応の可否

STEP 11 開催しよう!

開催に当たっては、前日までに準備ができているかを確認するためのチェックリストを作って、複数名で確認作業をしておくといでしょう。

●準備例

- まな板や鍋などの調理道具のチェックリスト
- お皿やお箸などの食器類のチェックリスト
- マスクやビニール手袋などの備品チェックリスト
- 塩や油などの調味料のチェックリスト
- 食材のチェックリスト
- 当日スタッフの役割分担表
- 下痢や風邪などスタッフの健康チェックリスト
- 看板や献立表、アンケート用紙
- 食物アレルギーの確認表

STEP 12 ふりかえりをしよう!

早めにアンケートをまとめて、スタッフの記憶が新しいうちに「ふりかえり」。みんなで話し合っ、次の開催に活かしましょう。

●たとえば

- 良かったこと
- 困ったこと
- 気がついたこと
- 当日、利用者から聞いた声
- アンケートの内容



Step 10 広報のポイント

地域の人に見てもらうために、チラシの配布や掲示をいろいろなところに依頼しましょう。

- ・町内会や自治会の回覧板
- ・民生委員児童委員に依頼
- ・小学校でチラシの配布
- ・スーパーや喫茶店などの各種店舗
- ・社会福祉協議会ボランティアセンター
- ・NPO支援センター

Step 11 開設のポイント

本番の開設前に、地域の方や関係者を集めてプレオープンするとよいでしょう。

- ・プレオープンすることで、地域の人に理解を促すことができます。
- ・調理道具や食材の過不足の確認や、当日スタッフの役割や段取りの不備の確認も行えます。
- ・参加者にアンケートを取ることで、課題や要望などのアドバイスをいただけます。
- ・プレオープンで、募金や食材の寄付、ボランティアを募ると、支援の輪を広げることができます。

Step 12 お役立ち情報

■子ども食堂に関する全般的な相談先

愛知県健康福祉部地域福祉課
 子ども未来応援グループ
 愛知県名古屋市中区三の丸3丁目1-2 西庁舎3階
 TEL 052-954-6627
 E-mail chiikifukushi@pref.aichi.lg.jp



■生活困窮者自立相談支援機関窓口

経済的、社会的等の様々な理由により生活に困窮されている方の相談や生活に不安や困難を抱えている家庭を見つけた時の相談先

